

令和2年度 実習生受入事務所一覧表

所在地	事務所	受入予定人数	時期	期間	テーマ	実習内容	
新潟県	むらかみ市 羽越河川国道事務所	2	8月下旬～9月上旬	1～2週間	清流荒川、北陸で最初の犬石ダムと最新の横川ダム、日本海沿岸東北自動車道の管理ならびに国道7号 朝日温海道路の工事監督	・平成20年に「平成の水百選」にも選定された「清流荒川」の河川管理及びダムの管理 ・東北地域に安全安心なサービスを提供する「日本海沿岸東北自動車道」(高速道路)の道路管理実務、ならびに国道7号朝日温海道路の工事監督	
	にいがわ市 新潟港湾・空港整備事務所	1	7月中旬～8月下旬	2週間	新潟の人流と物流を支える「国際拠点港湾」新潟港と市民の安全を守る海岸の整備事業を体験	[新潟港] ・経験する機会があまりない海洋土木構造物の施工の最前線を体験 ・新潟港は、海外と交易する多数の地元企業が物流拠点として利用している国際拠点港湾 ・実習は、新潟港の浚渫、防波堤工事の現場実務等を体験 [新潟港海岸] ・新潟港海岸は全国でも海岸侵食が著しい海岸 ・海岸侵食を防護するために「面的防護工法」による整備事業を実施中 ・実習は、新潟港海岸整備事業の工事監督補助を体験	
	にいがわ市 新潟港湾空港技術調査事務所	1	7月中旬～9月下旬	1～2週間	港湾施設の設計、港湾施設の設計に用いる水理実験手法、港湾施設の観測データの解析手法	・経験する機会があまりない海洋土木構造物の設計最前線を体験 ・新潟港湾空港技術調査事務所は、管内(新潟県、富山県、石川県、福井県)の重要な港の施設を設計している唯一の事務所 ・設計においては、波の推算、地盤の強度、構造物強度、入港船舶との関係による岸壁サイズの検討などの知識が習得できる ・水理模型実験においては、国内最大級の水理模型実験施設において、港湾構造物への複雑な波の伝わり方を観察し実験手法を学べる ・実習では、臨港道路(新潟みなとトンネル・新湊大橋)の健全性を把握するための観測データの解析手法、港湾施設の設計方法を習得する。	
	にいがわ市 北陸地方整備局 営繕部	1～2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	防災拠点となる公共建築等の企画立案について	・建築物の新築・改修等の企画立案 ・設計プロポーザルで求める技術提案書の作成体験 ・庁舎の工事現場見学 ・免震構造を採用した庁舎のバックヤード見学 ・若手職員との意見交換会の実施	
	しなのがわ市 信濃川下流河川事務所	2	8月下旬～9月中旬	2週間	低平地を流れる信濃川下流域の治水事業 ～設計、施工から河川管理～	・日本一の河川延長を誇る信濃川 その下流域で「洪水を安全に流す」ために行っている河川整備について、計画・設計、工事、河川管理実務を含めて体験(例:工事現場監督業務、水文観測、河川パトロール等)。 ・海岸侵食が著しい新潟海岸で、国が行っている海岸保全施設整備についても実務を含めて体験。 ・水辺の活用の取り組み(例:ミズベリングやすざぎ堤) ・事務所在籍の若手職員との意見交換会の実施。	
	あがのがわ市 阿賀野川河川事務所	2	7月中旬～9月下旬	2週間	阿賀野川下流域における治水事業 ～河川、砂防、地すべり対策の取り組み～	日本有数の大河阿賀野川での地域の安全安心を支える河川事業、砂防事業及び国内最大級の滝坂地すべり対策事業並びに豊かな河川環境の保全・再生の取り組みについて、 ・水文観測所点検、流量観測、データとりまとめ等の調査実習 ・工事現場安全パトロール、河川巡視、地すべり点検、地すべり模型実験、情報発信体験 ・排水機場、沢床固工、排水トンネル、集水井等主要施設の見学	
	にいがわ市 新潟国道事務所	2	7月上旬～9月下旬	1～2週間	新潟の背骨を支える大動脈「新潟バイパス」の道路管理 及び本格的なメンテナンスの実践等	・全国有数の交通量(10万台/日)を支える新潟バイパス等の道路管理業務(パトロールなどの日常管理)の現場実務を体験 ・道路の安全、安全を支える道路構造物のメンテナンスに関する講義や構造物補修工事の監督実務を体験(その他、管内主要事業の現場見学、講義等も実施予定)	
	ながのがわ市 長岡国道事務所	2	8月下旬～9月上旬	2週間	新潟県中越地区の道路事業	中越地域の発展の基礎となる道路整備の一連のサイクルについて学ぶ ・道路の調査、設計 ・改築施工現場の見学 ・道路管理(パトロール)随行 など	
	しなのがわ市 信濃川河川事務所	2	7月下旬～9月下旬	2週間	日本一の大河 信濃川中流域の治水事業 ～流域の安心・安全を守り、発展を支える取り組み～	・信濃川の洪水から越後平野を守り、また、多くの恵みを育む豊かな水を利用するために日夜守り続けている大河津分水路や大河津可動堰をはじめとした大規模河川管理施設を見て役割を学ぶ。 ・令和元年東日本台風の被害等を受けて立ち上げた「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の計画・推進のための現地調査等を体験。 ・河岸段丘から扇状地、氾濫原へと地形の変化に富んだ信濃川を河川パトロールを行う事により体験 ・地域を守るため、現在行われている河川改修工事の施工管理を体験	
	くにがわ市 国営越後丘陵公園事務所	1	7月下旬～9月上旬	2週間	国営越後丘陵公園の整備と利用促進について ～年間約50万人の来園者を迎える本州日本海側唯一の国営公園事業～	・豊かな里山の自然や花景色を生かした魅力ある公園の整備(工事監督)と維持管理(施設点検)を体験。 ・来園者の利用促進に向けた調査および改善プランの作成。	
じょうまつ市 高田河川国道事務所	3	7月下旬～9月下旬	2週間	上越地域の特性を生じた街づくりと防災強化	・関川及び姫川の洪水特性に応じた河川整備メニューや河川管理の工夫のほか、かわを中心とした水文化等など。 ・日本特有の厳しい気候に対応した(越波や塩害)国道の整備・維持の方法や、生活基盤の幹線となる道路計画の実務など。		
みなみうらぎ市 南魚沼市	三國川ダム管理所	2	7月上旬～9月下旬	1週間	地域に開かれたダムとして地域の人たちと観光客に親しまれている三國川ダム管理	・三國川ダムは地域に開かれたダムとして、「ダム地下通路」等の施設見学会や「ダムカード」の配布や「ダムカレー」など地域と連携した取り組みを通じて、地域振興を進めている。 ・雨量、貯水位、流入量、放流等のダム諸量データの収集整理、ダム堤体の変位観測及び貯水池巡視などのダム管理を体験する ・その他、ダムにおける防災対応や環境への取り組みなども学ぶ	
ゆざわ町 湯沢砂防事務所	2	9月上旬～9月下旬	1～2週間	被災地の復興を支え、地域の安全・安心を守る砂防事業	・我が国最初期のアーチ式砂防堰堤 大源太川第1号砂防堰堤(登録有形文化財)の補強対策工事現場監督補助 ・面積日本一の直轄砂防エリアを持つ事務所における、地域を土砂災害から守るための現地調査補助や砂防工事現場監督補助及び砂防堰堤測量設計補助 ・地域住民と協力した砂防事業を進めるための、砂防施設配置計画の実務 ・環境に配慮した砂防事業を進めるための、管内環境調査(猛禽類、魚類、植物等)の実務		
富山県	ふかやま市 伏木富山港湾事務所	1	7月中旬～8月上旬	2週間	伏木富山港の役割と港湾整備による地域への波及効果について実習	・伏木富山港は日本海側で数少ない国際拠点港の一つであり、伏木・新湊・富山の3地区から形成される港。 ・3地区の港湾利用状況を見学し、各地区の物流特性や役割を学習。 ・現在継続中の予防保全事業(老朽化対策や耐震補強中の岸壁改良工事)の現場実務(工事監督)を体験。 ・港湾業務艦による主要港湾施設の施設点検を体験。	
	とやま市 富山河川国道事務所	2	7月中旬～9月下旬	1～2週間	富山県の河川の特徴を考慮した河川事業について	・日本一の急流河川である常願寺川において、河川パトロール等を通じて、急流河川の特性や急流河川に対応した治水工法を学ぶ ・流量観測、河川測量など河川の基本調査や河川巡視などの維持管理を現場で体験する ・その他、河川における防災対応や環境への取り組みなども学ぶ	
	とやま市 富山河川国道事務所	2	7月中旬～9月下旬	1～2週間	富山河川国道事務所の直轄国道の調査計画から工事、維持管理業務の実務について	・富山県唯一の国道事務所である富山河川国道事務所管内の道路計画から事業実施までの調査計画実務 ・工事現場監督業務補助 ・高規格幹線道路の道路パトロール実務等の維持管理業務	
	くろべ市 黒部河川事務所	2	7月下旬～8月上旬	1週間	水系一環事業の調査・計画・管理・施工	日本でも屈指の急流河川である黒部川の河川事業全般に関する実務 豊かな自然環境と調和した黒部川上流域の砂防事業全般に関する実務 全国でも侵食の激しい海岸として有名な下新川海岸の海岸事業全般に関する実務 直轄ダムでは初めてとなる土砂を排出する排砂設備を有する宇奈月ダムでの点検作業等の実務	
とやま市 砺波市	利賀ダム工事事務所	2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	人々の暮らしと産業に恩恵をもたらした、地域の歴史、文化を育んできた庄川との関わりを再認識 ～新たな治水の歴史を刻む利賀ダム建設事業の役割～	・地域と共に庄川流域の安全・安心を築く利賀ダム建設事業を学ぶ。 ・ダム工事用道路(橋梁、トンネル)の工事監督などを体験。	
石川県	かほろ市 金沢河川国道事務所	1	7月中旬～9月中旬	2週間	石川県の治水事業 ～梯川及び手取川の河川、砂防、ダム、海岸の取り組み～	・梯川改修による引堤などの工事監督を体験 ・急流河川における工事監督及び河川パトロールを体験 ・高山地域における全国有数の大規模地すべり対策の現地調査及び工事監督を体験 ・国内最大級のロックフィルダム、手取川ダムの流水の管理及び巡視・点検・観測・計測などの維持管理を体験 ・山から海までの総合土砂管理に関する現地調査を体験	
	かほろ市 金沢河川国道事務所	1	7月中旬～9月中旬	2週間	石川県の道路事業 ～直轄国道の整備・管理の取り組み～	・道路が出来るまでをまるごと見せます(計画から調査、設計、用地、工事、管理まで) ・奥能登に繋がる大動脈として建設が進む能越道輪島道路での大規模土工工事監督体験 ・金沢市を縁取る山側環状で建設が進む金沢東部環状道路でのトンネル工事監督体験 ・北陸新幹線開業後多くの人が訪れる古都金沢市街での道路パトロールの実施	
	かほろ市 金沢港湾・空港整備事務所	1	7月中旬～8月上旬	2週間	地域経済を支える金沢港等の港湾整備事業を体験	・金沢港、七尾港等の利用状況を調査。地域における各港の役割を学習。 ・現在実施中の事業を事例とした事業評価資料の作成を疑似体験。 ・金沢港で進めている、防波堤工事等の現場実務(工事監督)を体験。 ・港湾業務艦による海上施設の点検を体験。	
	かほろ市 金沢営繕事務所	1	学生の夏期休暇 期間中	1～2週間	安心安全な公共建築の維持整備	・施設の中長期改修改修計画及び予算要求資料の疑似作成 ・工事監督の立会体験 ・完成した大規模施設の見学 ・耐震レトロフィットを行った合同庁舎の見学 ・中堅職員及び受注者若手社員との意見交換会の実施	
福島県	あいつわなまつ市 会津若松市	阿賀川河川事務所	1	7月上旬～8月中旬	2～3週間	会津地域を潤す阿賀川流域の治水事業 ～阿賀川・大川ダムの工事・管理～	・阿賀川下流部河道拡幅事業や阿賀川弱小堤防対策事業の効果学び工事監督を体験。 ・河川パトロール及び河川管理施設点検等の実務体験。 ・阿賀川の河川環境を学び、環境に配慮した河川管理の方策について考察する。
長野県	ながの市 長野市	ちくまがわ市 千曲河川事務所	2	7月下旬～9月下旬	2週間	千曲川・犀川流域の治水事業 ～事業計画から工事・管理まで～	①河川整備の目的を現場を見ながら理解を深める。 ②千曲川源流から下流へかけ流域の変化及び流域特性を学ぶ。 ③自然再生事業で行っている内容を講義と現場で具体的に学ぶ。 ④維持管理の重要性と防災への関連性について現場をとおし学ぶ。 ⑤河川環境への取り組みの一環として行っている調査に参加し、取り組み内容の確認及び現場環境状況の把握を行う。 ⑥流量観測を実際に行い作業の流れ等確認し、その成果がどの様に活用されるのか学ぶ。 ⑦工事監督の業務内容の確認、工事受注者との関わりを学ぶ。 ⑧河川パトロールの必要性と維持管理及び防災との関わりを把握する。
	おおまち市 大町市	おおまち市 大町ダム管理所	1	7月中旬～9月中旬	1週間	下流域の安全と環境を守るダム管理	・ダムの安全性及び機能を長期的に保持するための施設点検・巡視 ・環境に配慮したダム放流の調査検証 ・ダム管理諸量に関する取りまとめ検証等
	まつもと市 松本市	まつもと市 松本砂防事務所	2	8月上旬～9月上旬	1週間	荒れた山河に挑み、地域の安全・安心を守る砂防事業	・地域を土砂災害から守る砂防設備に関わる工事監督等の体験(無人化施工技術を活用した工事 等) ・土砂災害防止法に基づく緊急調査疑似体験(河道閉塞氾濫シミュレーション 等)
岐阜県	ひだ市 飛騨市	じんづうがわ市 神通川水系砂防事務所	1	7月上旬～9月上旬	1週間	飛騨の砂守 ～地域とともに流域を守り続けて1世紀の歴史ある砂防事業～	・自然環境と調和した砂防事業推進のための自然環境調査の体験 ・日本有数の荒廃地で進めている砂防堰堤等の工事監督、砂防設備の点検の体験 ・活火山焼岳山頂周辺の地形状況や火山噴出物、既設施設の調査を体験

令和2年度 実習生受入事務所一覧表

所在地		事務所	受入 予定 人数	時期	期間	テーマ	実習内容
福井県	敦賀市	敦賀港湾事務所	1	7月下旬～8月上旬	1週間	地域の経済・物流を支える敦賀港の港湾整備事業について	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀港は、福井県内はもとより背後圏である関西・中京圏と北海道を結ぶ大動脈として地域の経済や物流を支える重要な役割を担っている。 その敦賀港において、経験する機会があまりない海洋構造物の施工の最前線を体験。 実習は、敦賀港の主要係留施設である、鞠山南地区 岸壁本体工事(極めて大きなコンクリート構造物(ケーソン約2,000トン/1函)を製作)の現場実務(工事監督)を体験。

※実習内容は募集開始時の予定であり、変更となる場合がある。